

令和5年第1回(臨時会)

厚真町教育委員会会議録

1 開会

令和5年1月13日(金)15時00分

2 閉会

令和5年1月13日(金)16時00分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 長門 茂明 金光 えり 池川 徹

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 奥村 与志照
生涯学習課学校教育担当参事 中村 真吾
生涯学習課参事 作田 和彦

5 会議録署名委員の指名

(金 光 え り)

(池 川 徹)

6 議案

議案第1号 厚真町学校給食センター条例施行規則の一部改正について

(資料1)

【質疑】

池川委員：日数を決めないほうがよいのではないか。登校日数日に設定するのはできないか。

長門委員：「以内」という表記で許容範囲を持たせてはどうか。

金光委員：改正後の第5条というのは厚真町の学校給食センター条例の第5条という認識でいいのか。文部省から出ているのはどういったものなのか。

中村参事：学校給食法の第8条に、給食費などの基準が定められていて学校給食実施基準がある。その基準の中に原則として毎週5回授業日の昼

食時に実施されるものとする」と定められており、本町の学校給食センター条例で 200 日以内と明記をしていた。

金光委員：給食が始まったころは、お弁当のほうがいいという意見や、米どころとして月に 1 回はお弁当の日もあり、給食を少なめに設定していた印象がある。日数によって、給食費等の算出に関わってくるのであれば、しっかりと検討したほうがいいのではないか。

池川委員：「登校日数以内」という表記はできないのか。

中村参事：これまでも日数を定めており、今回は、202 日という提案をさせていただいた。

長門委員：原則の日数を表記しなければならないものなのか。今回、各校へヒアリングをした内容をそのまま条文化できないのか。「各校の登校日数に合わせて給食日数を決める」という表現ではどうか。

中村参事：実施基準の文言でいくと、「授業日の昼食時に実施されるものとする」とあるため、「授業日数以内」等の文言を検討していきたい。

長門委員：その年によって授業日数が変わる可能性があるならば、数字ではなく、「授業日数」という文言を使うとスムーズなのではないか。

教育長：施行日はいつを予定しているのか。

中村参事：4 月 1 日を予定している。

教育長：改正の趣旨については問題ないとのことなので、今後の運営等に支障がないような改正をとという助言があったため、結論を急がず、表現方法については、再度整理をしてほしい。

7 同意

同意第 1 号 厚真町教育委員会表彰について

(資料 2)

【質疑】

長門委員：表彰はいつ頃を予定しているのか。

教育長：今回は、17 日（火）小学校の始業式に表彰したいと打診をしている。

池川委員：金品等はあるのか。表彰要項の中の第 5 条で毎月 10 月とするところがあるが、柔軟に変わっているのであれば、削除する、もしくは、変更したほうがよいのではないか。

奥村課長：金品はない。

教育長：感謝状と栄誉賞については、特別な事由があるときはこの限りではないという文言に改正した背景があった。義務教育課程の場合は、教育委員会表彰、その後は、町の表彰にしようという提案があり、双方を使い分けしようということになっている。今回は特別な事由に該当するという認識である。今後、町長部局とも連携をしながら、考えていきたい。

池川委員：商工会関係、農業関係も役場から通知が来るものなのか。分けて表彰するのではなく、一緒にできないものなのか。

教育長：一本化するとあくまでも教育委員会の推薦ということになる。表彰に関する実績を見逃さないよう、アンテナを高くしていきたい。今後、表彰の在り方については検討を進めていく。

8 その他

(1) 二十歳のつどいについて

【質疑】

池川委員：中学3年生のころに、働きかけを工夫していけるように、3月1日以降でも構わないが、仕掛けていくことも考えて行ってほしい。二十歳のつどいに目的をもって参加できるようなものを提案することも重要なのではないか。

長門委員：昨年、同窓会を実施する際にだれが声をかけるかというのが暗黙の了解で決まっていたスムーズだった。年次によっては、それが難しいこともある。中学校を卒業する段階で、各学年の軸になる人物を決めておくだけでも、実行委員会の選考等もスムーズなのではないか。

教育長：旧友と共に何かを一緒に実施することもすごくよい経験になっている。

池川委員：アトラクションでの動画は、厚真の素材も含められるといいかもしれない。

長門委員：コミュニティスクールで関わっている地域の方々が参加できるような仕組みづくりも目指してほしい。

奥村課長：コミュニティスクールの委員さんにも深くかかわってもらいたいとか。

長門委員：その時代に深くかかわってもらった地域の方々にも関わってもらいたいことである。

長門委員：実行委員に選任されたメンバーはすごく一生懸命やっていた様子が見受けられたため、その分、予算と時間を与えてあげてほしい。

池川委員：記念品は小銭入れだったのか。値段は。

奥村課長：約5,000円であり、町内事業者の小銭入れだった。

池川委員：バルーンアートは難しかったのか。

奥村課長：バルーンアートは、実現しなかった。

池川委員：例えば、仲間意識を途切れさせないように集まりピックで学年別競技など、1年に1回はみんなが集うきっかけづくりがあってもよいかも知れない。二十歳のつどいで使えるようにスター券を積み立てていくのもいいのではないか。

奥村課長：グループ内で検討していきたい。

9 次回委員会の開催日程

- ・ 定例委員会 1月30日（木）午後2時30分（予定）

10 閉会